

第 49 回

東京消化器内視鏡技師研究会

日時 2026 年 2 月 1 日 (日) 9:55~15:20

会場 日本教育会館 一ツ橋ホール

東京都千代田区一ツ橋 2-6-2

オンデマンド配信

2026 年 2 月 16 日 (月) 17:00~2026 年 2 月 25 日 (水) 23:59

会場参加の皆様へ

■受付について

1. 参加受付は、**日本消化器内視鏡技師会の会員管理システム**から行います。事前に ID とパスワードをご確認ください。
2. 受付は**3階ロビー**にて、午前・午後の 2 回行います。午前は研究会出席、午後は医学講習受講の受付となります。
3. 受付時間は、午前 9:15～10:10、午後 13:00～14:00 です。受付時間を過ぎた場合、出席ポイントは付与されません。
4. 受付時には、スマートフォン等で**受講票の QR コード画面**をご提示ください（※会員証ではありません）。午前・午後で QR コードが異なりますのでご注意ください。
5. プログラム・抄録集の配布はありません。各自で印刷等をご準備のうえご持参ください。

■会場内について

1. ホール内は自由席です。
2. 写真・ビデオ撮影は禁止です。
3. ホール内での飲食は禁止です。飲食はロビーにてお願ひいたします。
4. 持ち込まれた飲食物のごみやその他のごみは回収できません。各自でお持ち帰りください。

■受講ポイントについて

1. 本研究会に参加された場合、**研究会出席ポイント（10 ポイント）** および**医学講義受講ポイント（3 ポイント）** が付与されます。
2. 会員管理システムの導入に伴い、**紙の証明書は廃止**されました。
3. 今後の当会事業につきましては、会員管理システムと連携して運用するため、紙の受講証明書は発行いたしません。

■出席の確認について

1. 出席証明は、会員管理システムの「受講履歴ポイント照会」から確認できます。
2. 「受講履歴ポイント照会」で確認できる場合、資格更新および内視鏡技師試験受験時の出席証明書の添付は不要になりました。

■欠席時の扱いについて

1. 当日やむを得ず欠席された場合は、会員管理システムによるオンデマンド配信をご視聴いただくことで、**研究会出席ポイント（10 ポイント）** が付与されます。なお、医学講義につきましてはポイント付与の対象外となりますので、ご注意ください。

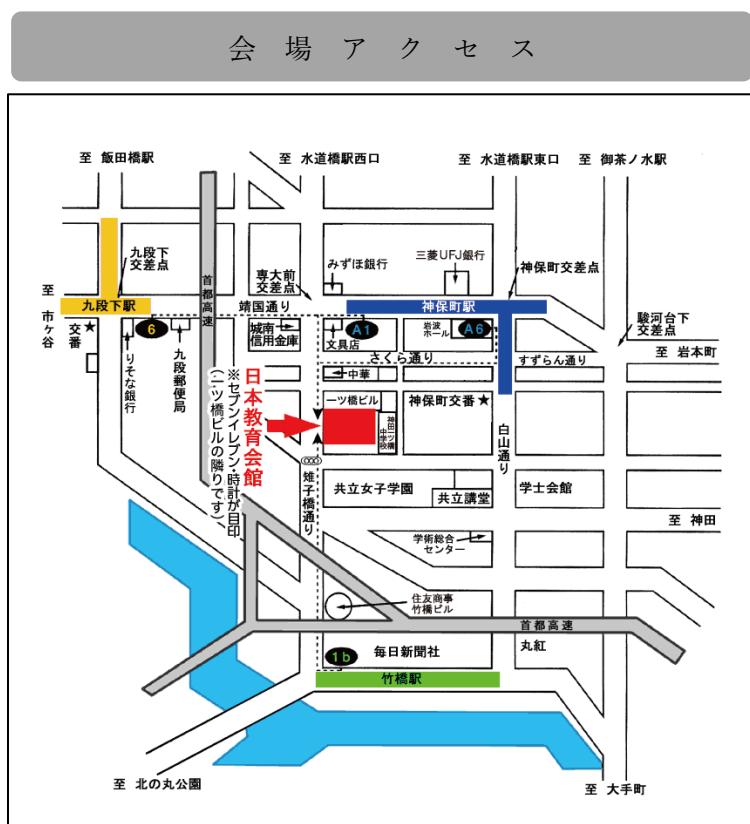
Web 参加（オンデマンド）の皆様へ

■Web 視聴について

1. 当日の **LIVE 配信はありません。**
2. 下記の視聴期間内に、日本消化器内視鏡技師会 会員管理システムから視聴してください。
3. 視聴期間は、**2026 年 2 月 16 日（月）17:00～2026 年 2 月 25 日（水）23:59** までです。
4. 動画内にキーワードが表示されますので、視聴後にキーワードを入力してください。

■受講ポイントについて

1. 本研究会に Web 参加された場合、**研究会出席ポイント（10 ポイント）** が付与されます。医学講義は Web では受講できません。



プログラム

9：55～10：00 開会あいさつ

東京消化器内視鏡技師会会长 谷道清隆

10：00～11：00 一般演題（研究会参加ポイント対象：10 ポイント）

座長：聖路加国際病院 吉田匡良

1. 当院内視鏡室におけるタスクシェアの導入とその効果

河北総合病院 谷村勇多

2. 説明用紙改訂による患者理解向上と業務効率改善

広沢クリニック 大場優佳

3. 大腸 ESD におけるナイロン糸トラクションデバイスの問題点と改善策の検討

国立国際医療センター 佐藤真己

4. 2025 年度東京消化器内視鏡看護勉強会の活動報告

東京消化器内視鏡看護勉強会 高村哲子

11：00～11：15 休憩

11：15～12：15 ワークショップ

座長：河北総合病院 谷道清隆

小金井メディカルクリニック 中森節子

「あなたの病院のカルテ記録はどうなっていますか？」

1. 河北総合病院 飛田理緒奈

2. 日本鋼管病院 賀澤恭子

3. NTT 東日本関東病院 天笠綾香

4. 杏林大学医学部付属杉並病院 荒木由美

12：15～13：45 休憩

13：45～15：15 医学講習（医学講義受講ポイント対象：3 ポイント/現地参加のみ）

司会：国立国際医療センター 佐藤真己

「大腸 ESD 難済症例への対策と限界」

がん研有明病院 下部消化管内科 鈴木桂悟

15：15～15：20 閉会あいさつ

東京消化器内視鏡技師会副会長 吉田匡良

内視鏡関連機器展示（7階会議室 11：00～14：00）

機器展示協賛企業（19社）

アズテック、アダチ、イワツキ、EA ファーマ、ASP Japan、STS メディック、オカダ電子、オリンパス、カイゲンファーマ、興研、新銳工業、タカラベルモント、トップ、日本アッシュ、廣瀬商会、富士フィルム、ボストン・サイエンティフィック、堀井薬品工業、メディカルリーダース（五十音順）

一般演題抄録集

一般演題：1

当院内視鏡室におけるタスクシェアの導入とその効果

社会医療法人 河北医療財団 河北総合病院 内視鏡診断・治療科

○谷村 勇多、木下 清香、黒沢 靖子、川村 奏響、熊澤 慶子、鳥谷 華蓮、篠原 万里奈、飛田 理緒奈、花島 早苗、谷道 清隆

【目的】

2021年の法改正により、厚生労働大臣指定講習会を修了した臨床検査技師は、採血を伴う静脈路確保の実施が可能となった。当院内視鏡室では、内視鏡検査件数の増加に伴う業務負担の増大を背景に、看護師の業務負担軽減および内視鏡室全体の業務効率化を目的として、臨床検査技師による静脈路確保のタスクシェアを導入した。本発表では、その運用状況と臨床検査技師が担当した静脈路確保件数を調査し、タスクシェアの導入とその効果について検討した。

【方法】

内視鏡専従の臨床検査技師9名を対象とし、2023年8月から2025年12月までの期間に、鎮静剤希望の外来患者に対して実施した静脈路確保件数を調査した。

【結果】

2023年8月から2025年12月までの鎮静剤希望の外来患者は4631件であり、そのうち採血を伴う静脈路確保は3961件であった。臨床検査技師が担当した静脈路確保件数は全体の約86%を占め、月平均136件、技師1人あたり月平均15件であった。

【考察】

臨床検査技師による静脈路確保のタスクシェアを導入したことで、看護師は静脈路確保に要していた時間を、問診、検査前後の患者対応、鎮静管理といった看護業務に集中できるようになった。当院内視鏡室では看護師は日替わり3名体制であり、従来は他業務を中断して静脈路確保を行う場面が多く見られていたが、臨床検査技師も静脈路確保を担うことで、内視鏡室全体の業務の流れが円滑となつた。また、職種間で役割を共有する体制が構築されたことも、タスクシェア導入の有用性を示す点であると考えられた。

【結語】

今後、静脈路確保にとどまらずタスクシェアの対象業務を拡大していくことで、より効率的かつ円滑な内視鏡業務の運用が可能になると考えられる。

《利益相反：無》

一般演題：2

説明用紙改訂による患者理解向上と業務効率改善

広沢クリニック 看護師・内視鏡技師¹⁾、医師²⁾

○大場 優佳¹⁾、廣澤 拓也²⁾

【目的】

近年、大腸がん罹患率上昇に伴い大腸内視鏡検査への関心が高まり、当院でも検査件数と高齢患者が増加している。大腸内視鏡検査は検査前の注意事項が多く説明内容が複雑であり、看護師による説明のばらつきや繰り返しの説明による業務負担が課題であった。そこで業務の効率化と説明内容の均質化を目的に、説明用紙を改訂し、その効果を評価した。

【方法】

2025年8月～10月に当院で検査を受けた患者39名を対象とした。改訂前群20名（平均年齢70.7歳、男性50%、初回55%）と、改訂後群19名（平均年齢67.8歳、男性47%、初回42%）を比較した。年齢・性別・初回率に大きな差はなかった。

改訂内容は、①検査前日から当日までの流れを時系列で整理、②レイアウト改善による可読性の向上である。内容は看護師全員で共有し、統一した説明を行った。検査終了後に口頭アンケートを実施し、「説明は分かりやすかった」と回答した割合を比較した。統計学的処理には、フィッシャーの正確確率検定で分析を行った。

【結果】

「説明が分かりやすかった」と回答した割合は、改訂前群35%、改訂後群74%（ $p = 0.025$ ）であり有意差を認めた。改訂前群で「文字が多く読みづらい」「重要事項に気づきにくい」との指摘多く、改訂後群では「見やすく理解しやすい」「電話での質問が不要になった」との肯定的意見が多かった。外来看護師や事務への問い合わせ件数も減少した。特に、検査前日の食事内容や下剤服用に関する問い合わせが大幅に減り、外来業務の効率化が実感された。看護師からも「説明がしやすくなった」「説明の抜け漏れが減った」との意見が得られた。

【考察】

改訂した説明用紙は、患者理解向上と看護師間で説明の統一に寄与し、業務の効率化を実現した。今後は動画やデジタル資料の導入など、多様な媒体による説明方法の検討を進めるとともに、患者特性に応じた個別対応と標準化の両立を目指し、さらなる満足度向上につなげていきたい。

一般演題：3

大腸 ESD におけるナイロン糸トラクションデバイスの問題点と改善策の検討

国立国際医療センター 内視鏡センター¹⁾、消化器内科²⁾

がん研究会有明病院 下部消化管内³⁾

○佐藤 真己¹⁾、奥山 康博¹⁾、指田 進也¹⁾、竜野 穎子²⁾、鈴木 桂悟³⁾、横井 千寿^{1) 2)}

【諸言・目的】

大腸 ESD において、粘膜下層剥離の際の視野確保は非常に重要であり、現在では様々なデバイスが販売されている。当院では、ナイロン糸を用いたトラクションデバイス(Nylon-loop Traction device : NTD)を自作し、使用している。これは Ide¹⁾らがすでに有用性を報告しており、当院の大腸 ESD においてもその効果を発揮し功績を収めている。今回、当院の使用実績から何らかの問題が生じた症例を抽出し、問題点と改善策について検討を行ったため、考察を交えて報告する。

【方法】

2024 年 5 月から 2025 年 12 月までの大腸 ESD における NTD を使用した症例から、NTD に起因する何らかの問題が生じた件数を抽出し、その問題点と改善策について検討する。

【結果】

大腸 ESD 140 件のうち NTD 使用症例数は 99 例であった。NTD に起因する問題が生じた件数は 41 件であり、内訳は、病変からのクリップ外れ：20 件、NTD 展開時クリップからの脱落：12 件、NTD やクリップの破損：4 件、展開時の絡まり：5 件であった。

【問題点と改善策】

原因として NTD はナイロン製であるため、伸縮性がなくトラクションがかかりすぎると病変からクリップが外れる、細く滑りやすいためクリップ展開時に脱落しやすい、脱落しないように巻きつけて装着していたが、それによりクリップ装置内の干渉・破損、ループの絡まりにつながる可能性が考えられた。これらの改善策として、ループの大きさを調整し作成する、クリップ装着時に反時計回りに 1 周のみ巻きつける、クリップ装置内で干渉しないように先端が少し出る程度に収納することとした。

【考察】

NTD は Ide¹⁾らの報告の通り有用性が高いトラクションデバイスであり、かつ自作のため大変安価で経済的な利点も大きい。しかしながら、自作であることから、作成や取り付け時に注意が必要であり、それが原因で、術中に時間を要する場合がある。今回、問題点の抽出と改善策の実施に至ったが、引き続き更なる検討と、状況に応じた改善が必要であると考えた。

【結語】

NTD は大腸 ESD において有用であるが、作成や取り付け方法などが重要であり、より有効な効果を得るためにには、それらを考慮する必要がある。

1. Ide D, Saito S, Ohya T et al. Colorectal endoscopic submucosal dissection can be efficiently performed by a trainee with use of a simple traction device and expert supervision. Endoscopy International Open 2019; 07: E824–E832

一般演題：4

2025 年度東京消化器内視鏡看護勉強会の活動報告

東京消化器看護研究会

○高村 哲子、天笠 綾香、小倉 薫、坂元 優美、白井 直美、堀内 春美、堀川 由佳、中森 節子

【はじめに】

東京消化器内視鏡看護勉強会は、内視鏡に関する知識やスキル、看護の質の向上を目的に、有志により 2010 年 9 月に発足された。小規模ながら多くの人の支えにより、活動 15 年目を迎え、これまで 64 回の勉強会を開催している。勉強会の内容は、大腸内視鏡検査時の用手圧迫法、BLS、事例検討、高周波装置・処置具の使い方など多岐に及ぶ。また、参加者は大学病院からクリニックまで幅が広く、看護師以外の職種の参加もある。今回は、2025 年度に開催した 3 回の勉強会について報告する。

【2025 年度の活動内容、参加人数】

	開催日	テーマ	参加人数
62 回	2025.4.19	BLS を学ぼう	15 名
63 回	2025.6.28	内視鏡検査・治療を安全・安心・安楽に行う前・中・後の看護	28 名
64 回	2025.9.27	内視鏡システム、洗浄消毒機のハンズオン～実機を用いた勉強会	25 名

【結果・考察】

62 回の BLS を学ぼうでは、講師に東京消防庁品川消防署五反田出張所の消防隊員 4 名のご協力を得て開催した。心肺蘇生法の講義から始まり、AED のデモ機を使用した実技などを行った。クリニックで働くスタッフにとって、BLS の体験は貴重な機会となったと感じている。

63 回の勉強会では、長きにわたり内視鏡看護委員会で重要な役割を果たしてこられた上田道子先生を講師に招き、内視鏡検査・治療を安全・安心・安楽に行う前・中・後の看護という題で講演を頂いた。「今求められる内視鏡看護は、検査・治療への関心だけでなく、内視鏡を受ける『人』の心と身体を深く思いやるケアリングが大切」と述べていた。アンケートでは、学びが多く、それでいて看護の原点に立ち返ることができたとの意見があった。

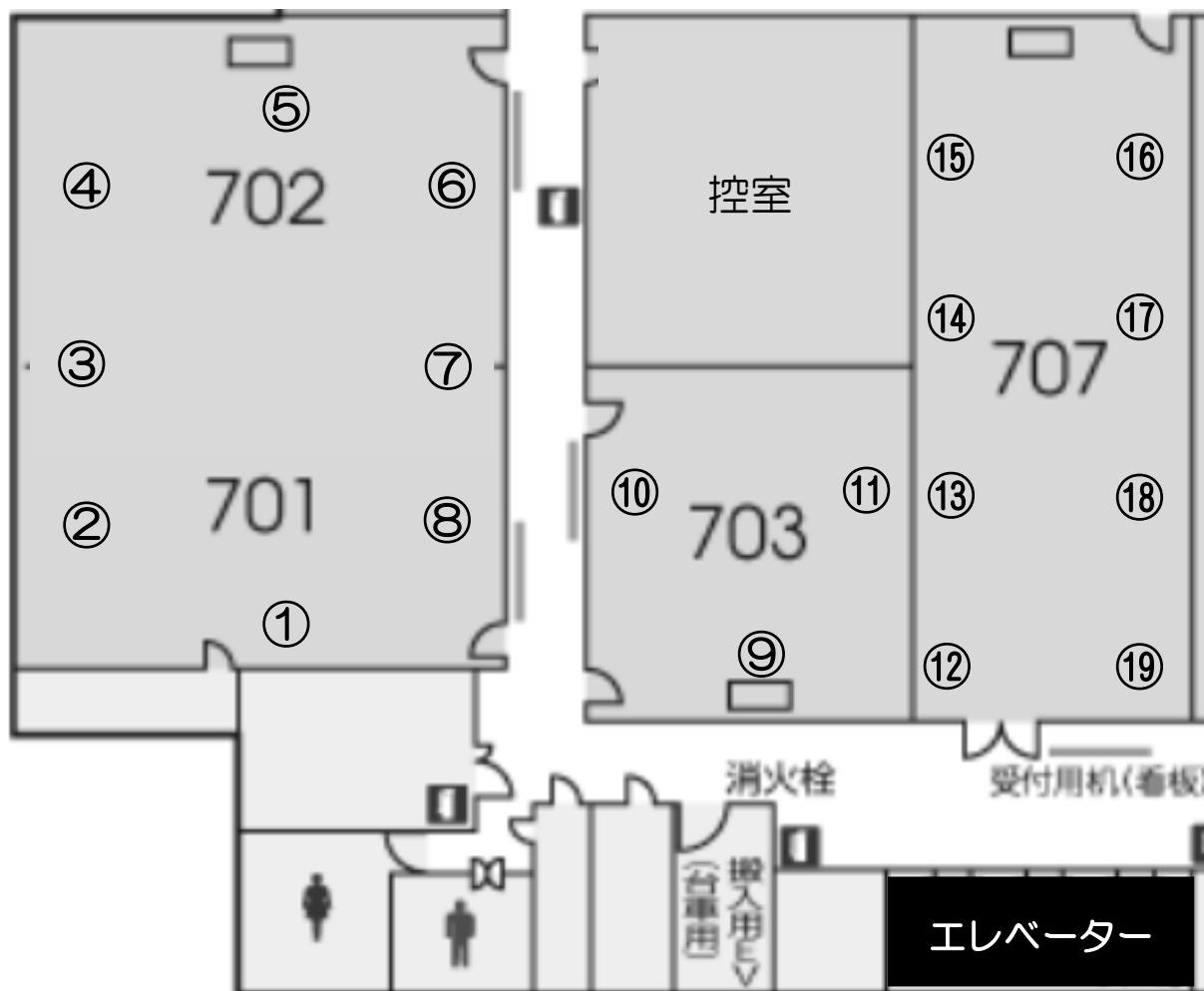
64 回は、場所を富士フィルムの西麻布テクニカルセンターで実機を用いて開催した。富士フィルムの方から AI を含めたシステムの説明、トラブルシューティングやスコープ・ボタンの構造、経鼻内視鏡前処置、災害対応、洗浄機や洗浄液交換の注意事項や管理など役立つ内容の説明が行われた。多くの質問があり、実機を見ながらの説明は好評を得た。

【おわりに】

残念ながら、2017 年から会場として使用させて頂いた五反田文化会館が 2025 年 10 月で閉館となつた。当会では、新たな会場を探している。決定しだい H P などでアナウンスをしていく予定である。今後もアンケートをもとに皆様の要望に応えたいと考えている。

《機器展示会場案内》

7階会議室 会場時間 11:00~14:30



《機器展示協賛社》 ○数字：展示場所

701・702	703	707
① オリンパス	⑨ アズテック	⑫ タカラベルモント
② メディカルリーダース	⑩ トップ	⑬ 興研
③ イワツキ	⑪ ボストン・サイエンティフィック	⑭ EAファーマ
④ アダチ		⑮ 新鋭工業
⑤ 富士フィルム		⑯ カイゲンファーマ
⑥ オカダ電子		⑰ 日本アッシュ
⑦ 堀井薬品工業		⑱ 廣瀬商会
⑧ STSメディック		⑲ ASPJapan